供のむし歯菌はどこから感染する?

生まれたての赤ちゃんにはむし歯菌は存在しません。 むし歯菌はこどもと接するおとなからうつると言われています。

乳歯の生えてくる1歳半から3歳までの期間が

「感染の窓」といわれ、むし歯菌がうつる期間と言われています。 虫歯菌はうつる時期が遅いほど一生むし歯になりにくいと言われてい ます。つまり、この時期までに家族が持つ悪い菌を少なくしておくべ

きなのです!そのためは事前に虫歯治療やお口のケアなど

細菌のコントロールを始めておくことが大切です!



令和4年 12月号

「子供が欲しい」と考えたら歯科検診を!

妊娠中はホルモンバランスの変化、唾液の分泌減少、つわりで 歯磨きがしにくくなる等、お口の中は歯周病が進行しやすく、虫 歯ができやすい環境になります。治療は安定期(妊娠16週頃)に 入ってからが推奨されているため、痛みが出てもすぐに治療が開 始できないことがあります。妊娠中の不安を少しでも減らすため に、事前に歯科検診を受けましょう!

親知らずの抜歯は妊娠前に

歯科受診の際に、診察やレントゲン写真で 状態を確認してもらいましょう。 むし歯や歯肉の炎症を起こす可能性が高い 場合は事前に治療(抜歯)することをお勧 めします。

妊娠中の治療

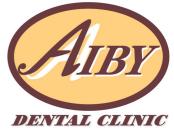
○レントゲン:

安全に検査できます

○お薬:

安全に使用できるお薬を 使います

※必要に応じて産婦人科の 先生と連携して治療をします。





平岸駅前こまち歯科



こんにちは!受付・歯科助手の松田です。 最近は夜11時までに寝るようにしてます。 朝もすっきり起きられて、睡眠時間の確保は 大切なんだなと実感しました。

皆さんも自分の睡眠時間を見直してみてはい かがでしょうか!

こんにちは!歯科衛生士の石田です。 もうそろそろ冬ですね! 雪もちらほら降ってきましたね! 今年は庭に雪山を作って甥っ子たちと

ソリすべりをしたいと思います!